

器楽

生徒たちが楽しく幅広く音楽を学習することができるよう教材を精選し、ポピュラー音楽、クラシック音楽、映画音楽、民謡、雅楽などバラエティー豊かな曲を取りそろえました。また、ソロからアンサンブルまでさまざまな演奏形態で取り組めるよう心がけるとともに、楽器や奏法の説明を確認しながら演奏できるよう紙面構成を工夫しました。

リコーダー 各学校や生徒の実態を考慮し、ソプラノとアルトのどちらでも演奏できる曲や、アルトの二重奏でもソプラノとアルトによる二重奏でも演奏可能な曲などを収録しました。

運指表を見開きで見やすく示しています。

(P.46・47)



(P.48・49)



和楽器 MOUSA①ではそれぞれの楽器奏法の習得を目的とする紙面構成にしましたが、MOUSA②ではさまざまな楽器編成による教材を取り上げ、音色の重なり合いを味わうことができるようにしました。また、和楽器単体では三線に焦点を当て、人気の高い《涙そうそう》と沖縄民謡《ていんさくぬ花》を収録しました。

歌、三味線、太鼓の編成



(P.63・64・65)

《斎太郎節》の伴奏楽器は三味線のみ、太鼓のみにすることも可能です。
《祭の夢》は、唱歌で篠笛の旋律のニュアンスを感じ取ることもできます。

篠笛(唱歌も掲載)と太鼓の編成



三線の工工四とリズムを掲載



(P.60・61・62)

五線譜と工工四の組み合わせ



ギター

MOUSA①で身に付けた基本的な奏法を生かして演奏することができ、ギターの学習者が憧れる曲を豊富に取りそろえました。クラシック・ギターの定番曲《愛のロマンス》ではヴィブラート奏法とセーハの押さえ方を練習することができ、ポップラー音楽では歌とギターに分かれての演奏や弾き歌いに取り組むことができます。

(P.77)

(P.78-79)

TAB譜の読み方

(P.18-19)

掲載曲の一部を取り出し、楽譜ページに収まるように奏法の説明を記しています。また、各曲ともTAB譜を掲載しています。

その他

グループ活動によって協働しながら学習を進めることができるボディー・パーカッションや、リコーダーと鍵盤ハーモニカを中心とする取り組みやすいアンサンブル教材を取りそろえました。グループで楽しみながら表現を深めることができます。

ソプラノ・リコーダー、鍵盤ハーモニカ、ピアノの編成

人気の高いスタジオジブリの音楽から、《人生のメリーゴーランド》を新たに収録しています。

(P.44-45)

身近な楽器で実際に演奏して、雅楽の雰囲気や表現の特徴を感じ取ることができます。

(P.24)

楽器を用いないボディー・パーカッションは、気軽に取り組むことができます。